平成23年度 第4回CCC国際関係学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時 :平成24年1月25日(水) 13:30~15:30

II. 場所 :私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者:林委員 多賀委員 佐渡友委員

(事務局) 井端事務局長 森下主幹 松本職員

IV. 議事概要

1. 検討内容

(1) 今回から新委員として佐渡友委員(日本大学)に参加いただくことになった。

(2) 学士力の実現に求められる教育改善モデルについて

事務局より、本日の検討事項について説明がなされた。

1. 各委員会で教育改善モデルを提案したが、理事会でPDCAのサイクルを回すための仕組みが必要だとの指摘があった。それに応え、教育改善モデルを教員が連携して点検・評価・改善してゆくための基準を4~5行で表現して頂きたい。

2. その後、具体的議論に入り、次のような意見が出された。

- ・授業は教員のものという考えを変えていきたい。
- ・現在多くの大学は各専門分野を担当する教員は1名しかおらず、教員同士が別の分野に関われるようなシステムができると連携の可能性はあるのではないか。
- ・資格試験がある学生は積極的に学習しているが、そうでない学生に対し、本当に大切な原理・原則を理解させなければならない。大学間コンソーシアムを作り共通試験を行うのはどうか。上位の学生にはインセンティブを与える。
- ・学内外でコンソーシアムを作り、関連する教員がファシリテーターとして学生と一緒に考え、その考えを社会に発信していけば社会を変えられるのではないか。
- ・初年次教育のテキストや参考映像などを他大学と共有できないか。
- ・ネットでフォーラムをつくって、学生に見せる教材を作れないか。
- ・シラバスを教員同士でチェックする仕組みが必要でないか。重複する部分を調整すれば、科目数を制限させることができる。

などと意見が出された。本日は時間の都合上ここまでとし、次回の委員会で引き続き検討し、「授業の点検・評価・改善」完成させることとした。

(3) 今後のスケジュールについて

今年度の委員会はあと1回で終了とし、来年度は作成したモデルをもとに、モデル実現のための教員の教育力について検討し、冊子刊行に向け編集作業を行う。

V. 次回の開催日程

日時：次回は3月6日（火）または3月14日（水） 13：30～

場所 私立大学情報教育協会 事務局 会議室